

シートベルト・ チャイルドシートは 体格に合わせ、 正しい姿勢で 使用しましょう!

6歳以上でもチャイルドシートを使用するなど、身長※などの体格に合わせましょう。

※日本自動車工業会や日本自動車連盟においては、身長150cm未満を目安として推奨

ベルトは首や腹部にかからないようにし、腰をしっかりと固定しましょう。

画像提供：
日本自動車連盟(JAF)
モデル身長140cm

NG



学童用チャイルドシートを使用していない場合

大人用シートベルトでは首やお腹にベルトがかかって危険です

OK



学童用チャイルドシートを使用した場合

ベルトが首にかからず、腰部をしっかりと支えます

事故時の危険の詳細は裏面に! ▶▶▶

事故のとき、シートベルトはどうなる？

① 前面衝突をした場合、身体は前へ進もうとします



前面衝突のような交通事故時には、慣性により前に進もうとする身体を座席に拘束するシートベルトにより、胸と腰には非常に大きな力がかかります。そのような大きな力に耐えるため、肩ベルトは肩にかけ、腰ベルトは骨盤をしっかり固定する必要があります。

もし、シートベルトが首やお腹にかかっていた場合、事故時の衝撃により首を圧迫したり、腹部の内臓を損傷してしまう危険があります。

シートベルトを正しく安全に着用するためには、正しく着用できる体格であること、また、正しい方法で着用すること、シートに深く腰掛けるなど正しい姿勢で着用することが重要です。

② 身体が前にいかないよう、シートベルトは瞬時にロックされます

シートベルトを正しく着用できるまでは、チャイルドシートを正しく使用し、こどもたちの命を守りましょう！

チャイルドシートの種類

チャイルドシートには、こどもの体格（身長や体重）に合わせて「乳児用」「幼児用」「学童用」があるほか、より長い期間にわたって使用できる兼用タイプのものもあります。

	乳児用 (ベビーシート)	幼児用 (チャイルドシート)	学童用 (ジュニアシート)
身長(目安)	40～85cm	76～105cmかつ 月齢15ヵ月以上	背もたれあり 100～150cm 背もたれなし 125～150cm
年齢(目安)	新生児～1歳ごろ	15ヵ月～4歳ごろ	4歳ごろ～12歳ごろ
特徴等	・骨格が未発達な乳児を守るため、体全体で衝撃を受け止められるように、後ろ向き、または横向きに取り付ける	・幼児からは前向きで使用する ・体全体で衝撃を受け止められるよう、5点式ハーネスにより固定するものが多い	・大人用のシートベルトを使用すること ・背もたれのありなしがあること ※6歳以上も、大人用シートベルトが安全に使用できるようになるまでは、学童用タイプの使用が望ましい

※チャイルドシートの対象は機種によって異なる場合がありますので事前に確認するとともに、使用前には説明書で取り付け方をしっかり確認しましょう。

安全基準を満たしたチャイルドシートには「Eマーク」が表示されています。
Eマークが表示されているか必ず確認しましょう。



シートベルト着用はすべての座席で義務付けられており、
シートベルトを正しく着用できるまではチャイルドシートを使用しましょう

